

になったものです。

「ご法話の後は、楽しい出店。今年は「バツティングセンター」が新登場。地面に置いた機械からボールがポンと宙に浮き、そこを上手く打って遠くに飛ばすか、籠かごの中に入ったら高得点。やってみるとなかなか打てません。単純ですが結構向きになるゲームです。



新登場バツティングセンター

それからもうひとつ、今年はとても嬉しいことがありました。

会終了後、スタッフで打ち上げをしたのですが、お開きになるころ、誰からともなく今日のご法話（長岡正信さん）の話になりました。「今日は、（本当の合掌は「本当の合掌」という話だったなあ、ワシらも残さずに帰ろうで」「ほうじゃほう

じゃ」ということで、注文した食べ物飲み物をひとつ残らずきれいに平らげ、最後に合掌、食後の言葉を言って帰りました。



花御堂で誕生仏に甘茶をかけて合掌。

合掌もせず、いただきますも言わず、それが当たり前になってしまった現代日本、本当にこれでよいのでしょうか？ また、合掌はしても形だけの私でしたが、「本当の合掌」は「行動になる」ということをお聞かせいただき、残さず食べてい



「合掌しましょう」と長岡正信さん。恥ずかしがってしない子も、はじめてしてくれた子も。本当に尊い瞬間です。

るか、好き嫌いを言っていないか、作ってくれた人に「美味しかったよ」と感謝を伝えているか…、無神経な日常を問い直すご縁をいただきました。

私の経験では、一度思ったぐらいではすぐ忘れてしまっただけでなかなか身につけません。しかし今回お寺で学んだ合掌は、ありがたいことに形だけに終わらず行動となりました。考えてみると、私たちがその気になったのは、今回のご縁だけではなく、両親やご先祖、どれだけ多くの先達の積み重ねのご苦労があったのだろう、そう考えると涙が止まりませんでした。

### 三津田支坊花まつり

三津田支坊花まつりは、ご門徒主催。四月五日（土）に行われ、今年も子ども約五十名、大人約八十名がお参りされました。今年も写真はないうのですが、口コミで地区外からもたくさんお参りされたとのことでした。

## 誓子の日記

皆さんお久しぶりです。最近体力が落ち、根気が続かなくなりました。長男慧は、高三の最後に念願のインターハイに出場ベストエイトに入賞。その後火がついたように受験勉強するも、二兎を追う者はなにとやら、あえなく失敗し現在予備校生です。二男学はパソコンゲームにはまっています。三男遊は、相変わらずマイペース、寄り道を趣味としています。下の二人はお勉強もしないし何を考えるか分かりません。口やかましく注意するのですが、体力がもちません。お寺もあちこちが壊れるし物いりだし、消費税も上がって困っています。どうもこうもこのままです(笑)。